

物流専門誌「カーゴニュース」に弊社 南港支店(大阪市住之江区)の記事が掲載されました。

弊社 南港支店の記事が物流情報の専門誌「カーゴニュース」の2020年11月26日号に掲載されました。

記（記事抜粋）

**【レポート】特積み会社の「倉庫併設型ターミナル」とは？**  
**カーゴニュース 2020.11.26 「南港支店」を移転 総延床面積を倍増 = T X J**

トールエクスプレスジャパン（T X J、本社・大阪市中央区、山本龍太郎社長）は5月に、南港支店を大阪市住之江区へ移転した。この“新南港支店”は移転前施設からターミナル面積を拡張するとともに、上層階に保管スペースを設けた、倉庫併設型ターミナル。国内貨物輸送量が減少傾向にある中、売上高の92%を特積み事業が占めるT X Jでは、原料の調達から一時保管、流通加工、出荷、配達までトータルで請け負う“一括受託”を今後の成長戦略に据えており、新南港支店はその戦略拠点といえる。

新南港支店は、大阪南港のマルチテナント型施設の1～3階に入居し、1階は路線便のターミナル、2階は事務所。3階は営業倉庫として運用する。1階ターミナル面積は8141㎡、3階倉庫面積は9330㎡となり、総延床面積は旧南港支店から倍増する。1～3階間は荷物用エレベータで荷物の移動が可能。庫内設備は今後、荷主企業の要望に合わせて柔軟に調達していく方針にある。車両は約60台を配備し、従業員数は70人ほど。場所は、阪神高速4号湾岸線・南港中ICから至近。さらに、南港ポートタウン線南港東駅から徒歩圏内で、従業員の通勤アクセスも良好となっている。旧南港支店からも約1・5kmほどの立地であり、既存荷主のオペレーションも大きな変更なく移行できた。

倉庫部分は日本郵便や、J P トールロジスティクスとグループ間の機能を補完し合う営業体制で推進しており、雑貨や機械部品、空調機関連品など多様な荷物の保管需要が寄せられている。なお、新南港支店の倉庫部分の運用はT X Jが担当する。

記事 URL

<http://cargo-news.co.jp/cargo-news-main/2629>

以上